

年間授業計画様式例

田無高等学校 令和5年度 教科 国語 科目 現代文B 年間授業計画

教科：国語 科目：現代文B 単位数：2単位

対象学年組：（第3学年 1組～7組）

科目担当者：（1組：内尾）（2組：石井）（3組：檜垣）（4組：石井）（5組：檜垣）（6組：内尾）（7組：檜垣）

使用教科書：（東京書籍「精選現代文B」）

使用教材：（桐原書店「頻出入試漢字コア2800」、浜島書店「最新国語便覧」）

	指導内容	科目現代文Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4 月	春期休業			
	オリエンテーション	進路実現に向け、現代文の学力向上のために 何をなすべきか、整理する。 ・授業に臨む態度 ・ノートを取り方 ・小テストの取り組み方 ・定期テストへの取り組み方		1
	評論「地図の想像力」	「地図」のイメージと「リアリズム」について考えたことを、具体的に挙げる。	[関] 地図や図像の持つイメージについて、積極的に考えている。〈発言〉 [読] 取り上げている事柄を捉えながら本文を通読している。〈行動の観察/発言〉ア [読] 第一段を読んで、地図がイメージの表現であるという筆者の主張を読み取っている。〈発言/ノートの確認/定期考査〉アオ [読] 第二段を読んで、語句についての筆者の定義や具体例の役割を理解し、主張を読み取っている。〈発言/ノ	2
		具体例と筆者の主張の関係を押さえながら、本文を通読する。		2

	指導内容	科目現代文Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
5 月	評論「地図の想像力」	イメージの表現である「地図」について、具体的に読み取る。	下の確認／定期考査)アオ [読] 第三段を読んで、地図 についての筆者の考えを読み 取っている。(発言／ノート の確認／定期考査)アオ	2
		「概念やイメージとしての地図」についての筆者の主張を読み取る。	[読・書] 本文の要旨を、構 成と展開を踏まえて読み取 り、まとめている。(ノート の確認)アオ	2
		世界像の表現である「地図」についての、筆者の主張を読み取る。	[関・話] 図像とイメージに ついて積極的に話し合ってい る。(話し合いの観察)ア	2
	中間考査			1
答案返却				1

指導内容	科目現代文Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数	
6 月	小説「檸檬」	本文を通読して、構成をつかむ。 作者について調べる。	[読] 本文を、人物の行動によって分けている。〈発言／ノートの確認〉イ	2
	「不吉な塊」によって「以前」の「私」と「その頃」の「私」がどう変わってしまったのかを把握する。	[関] 作者に興味を持っている。〈発言／ノートの確認〉イ [読] 「私」の心理状態を捉えている。〈発言／ノートの確認〉イ	2	
	「私」が好きな果物屋の特徴や好きな理由を把握する。檸檬によって「私」の感情がどのように変化したかを把握する。	[読] 「私」の心がひきつけられたものを取り出している。〈発言／ノートの確認〉イ [読] 檸檬を買ってからの「私」の心情を理解している。〈発言／ノートの確認／定期考査〉イ	2	
	語り手が語っている時点（現在）に思っていることと、語られた出来事の際に「私」が考えていたこととを峻別して捉える。	[読] 檸檬の役割の変化を捉えている。〈発言／ノートの確認／定期考査〉イ	2	
	目まぐるしく変化する「私」の心の変化をおさえていく。店を出た後、檸檬を爆弾に見立てた想像をすることの意味について考える。	[話・読] 語られた過去と語っている現在を区別して捉えている。〈発言／ノートの確認／定期考査〉イ [話・読] 根拠を示して自分の考えを伝え、作品に対する理解を深めている。〈話し合いの観察〉イオ	2	

指導内容	科目現代文Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
7月 期末考査			1
答案返却			1
答案返却			1
夏季休業			

指導内容	科目現代文Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
8月 夏季休業			
夏季休業			
夏季休業			
夏季休業			

	指導内容	科目現代文Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
9 月	評論「社会の壊れる時——知性的であるとはどう いうことか」	四つの意味段落で述べられている筆者の考えと、具体的な事例や引用に注意しながら、本文を通読する。	[読] 具体的な事例や引用の内容を捉えながら、本文を通読している。〈行動の観察／発言〉アウ	1
		抽象的な言葉や指示語の意味内容を理解して、筆者の考えを読み取る。	[読] 第一段を読んで、具体的な事例と抽象的な言葉の関わりを読み取っている。〈発言／ノートの確認／定期考査〉アウオ	2
		文化の崩壊と「近代性」の関連についての筆者の考えを読み取る。	[読] 第二段を読んで、「近代性」の歴史的意味について読み取っている。〈発言／ノートの確認／定期考査〉アウオ	2
		「近代性」という信仰と「摩擦」の維持についての筆者の考えを読み取る。	[読] 第三段を読んで、社会に存在する「摩擦」に対する筆者の考えを読み取っている。〈発言／ノートの確認／定期考査〉アウオ	2
		筆者の考える、「知性的ということ」について読み取り、まとめる。	[読・書] 本文の要旨を読み取り、まとめている。〈発言／ノートの確認／定期考査〉アウオ [関・話] 本文のテーマにつ	1

指導内容	科目現代文Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
	「知性的」であることが求められる，現代の社会問題について話し合う。	いて，関心を持って話し合っている。〈話し合いの観察）アウ	1
中間考査			1
10月 答案返却			1
	具体例と筆者の主張との関係に注意して，本文を通読する。 「『である』ことと『する』こと」という表題の意味について考える。	[読]具体例と筆者の考えとを区別することを意識して本文を通読している。〈行動の観察／発言）ア	2
	「時効」の制度のロジック中に潜む一民法の法理にとどまらない重大な意味，日本国憲法第十二条の精神，「近代社会の自由とか権利」などの問題について，筆者が述べたいことをつかむ。	[関・読]表題の意味するものに気づいている。〈行動の観察／発言）ア [読]例によって示された筆者の考えに気づいている。〈発言／ノートの確認／定期考	2

	指導内容	科目現代文Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
11 月	評論「『である』ことと『する』こと」	民主主義における「制度の自己目的化」やプディングの比喻における「属性」などのキーワードを手がかりに考え「近代精神のダイナミックス」の内容をつかむ。	[読・知]筆者が述べる近代社会の特徴を理解している。 〈発言／ノートの確認／定期 考査〉ア	1
		外部的に識別されることが第一の要件であり、相互に何者であるかが判明していれば「らしく」の道徳に従って話し合いが軌道に乗るような、「である」社会の道徳の特徴を理解する。	[読]「である」社会の特徴を理解している。〈発言／ノ ートの確認／定期考査〉ア	2
		人間関係が、まるごとの関係ではなく、役割関係に変わっていくという、「である」社会から「する」社会への推移を理解する。	[読・知]「である」社会の道徳をコミュニケーションの面から理解している。〈発言／ ノートの確認／定期考査〉ア	2
		「する」価値による検証が、必要なところでそれが欠け、その侵入が反省されようとしているところで進展しているという主張を踏まえ、「する」価値への急速な転換の功罪について考える。	[読・知]「である」社会から「する」社会への推移の過程を理解している。〈発言／ ノートの確認／定期考査〉ア	2
		「である」ことと「する」ことについて、筆者が挙げている具体例を整理し、どのような価値基準を表しているかまとめる。	[読]価値基準の変革の意味を福沢諭吉の引用を通して理解している。〈発言／ノートの 確	1

	指導内容	科目現代文Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
12 月	学年末考査		[関]暴力が生じる理由について自分で考えている。〈行動の観察／発言〉ア [読]キーワードを把握しながら全文を通読している。〈行動の観察〉オ [読]筆者が言う「暴力」が起こる理由を読み取り、整理している。〈発言／ノートの確認／定期考査〉ア	1
	答案返却			1
	評論「抗争する人間」	「暴力」やいじめ、争いなどがなぜ起きてしまうのか、自分なりに考える。		2
		「暴力」「自己尊厳」「虚栄心」という言葉に注意して、本文を通読する。		2
冬季休業				

	指導内容	科目現代文Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
1 月	冬季休業			
	評論「抗争する人間」	「虚栄心」という言葉は、どのように言い換えられているか、順を追って確認する。	[読]本文における「虚栄心」の意味を理解している。〈発言／ノートの確認〉ア [話]自分の意見を持って話し合いに参加している。〈話し合いの観察／発言〉アオ	2
		筆者の主張を踏まえ、他者とどのような関係を築いていくことが望ましいか、話し合う。		2
	学年末考査			1
	答案返却			1

	指導内容	科目現代文Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
2 月				

指導内容	科目現代文Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
3 月			